キャラクター名
一条　真紀(いちじょう　まき)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ オルクス	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	J(じょせい)K(きょうし)
オプショナル		年齢	17(27)	性別	女
覚醒	命令	衝動	妄想	初期侵食率	29 %
出自	政治権力	経験	平穏への憧れ	邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	0			3
感覚	2	0	0			2
精神	2	0	0			2
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
特異点	P	N		
一条　雅也(弟)	P　感服	N　嫌気		
『JK生活』	P　憧憬	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
C:ブラックドッグ	2	2	セット					
効果：	行動値+[Lv*4]							
アームズリンク	3	2	メジャー					
効果：	判定D+Lv							
ライトニングリンク	3	4	メジャー					
効果：	攻撃力+[Lv*4]　HP-5							
イオノクラフト	1	1	ﾏｲﾅｰ					
効果：	移動力+[Lv*2]飛行して移動							
絡めとる大地	3	1	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ					
効果：	行動値-[Lv*2]							
オーバーロード	1	3	ｵｰﾄ					
効果：	攻撃力+[壊した武器の攻撃力]							
ポルターガイスト	1	4	ﾏｲﾅｰ					
効果：	シーン間攻撃力+[壊した武器の攻撃力]							
UI:鉄塊丸	8		オート					
効果：	おっきなゴミ：リターンズ							
超人的代謝	★							
効果：								
地獄耳	★							
効果：								
	★							
効果：								
	★							
効果：								
	★							
効果：								

夏雲高等学校に籍を置く、しがない数学教師。
しかし、それは世を忍ぶ仮の姿。その正体は、超法規的組織UGNに所属するれっきとしたエージェントなのだ！
彼女は昼は教師、夜は秘密結社の一員として、毎日を忙しく過ごしている。
……そんなことは、例え何も知らない生徒の前でバラしてしまってもまともには受け止めてもらえないだろう。
それ程、彼女の第一印象は強烈なものなのだ。

そりゃ、『女子高校生と同じ制服を着て教壇に立つ教師』がまともに見えるハズも無く。

毎日セーラー服を着て通勤、仕事をする姿は流石に異様。童顔っぽくて違和感がそうでもないのが逆につらいポイント。
髪色もピンク。明るく真面目だが、打たれ弱い。そのくせ耳が良いから生徒の小声の影口で泣き出したりしちゃう。

元々大人の事情で覚醒しUGNに勤務している関係上、情報漏洩リスクや身の危険の問題上学校に通えず仕事漬けの日々を過ごしてきた。
そのため、「フツーの日常」の知識を漫画や小説を始めとしたフィクションによって摂取。実際とは歪んだ"日常"に強いあこがれを抱くようになる。
彼女も大人になり、情報管理や最低限の自衛は出来るであろうとの観点から、慰労の意も込めてかねてからの願いだった学校への潜入ミッションが課されたのであった。
……もちろん、誰も彼女が「先生として」と「生徒として」の欲望を同時に満たしに来るとは思っていなかったが。

だが、誰もそんなフリーダムな彼女を止めることは出来ない。
バックに政治家が付いてる噂もある……というのもあるのだが、アレだけ毎日を楽しそうに笑顔で過ごしているのを見ると何にも言えなくなってしまい。
寧ろ、ちょっと応援してやりたくなるようなこともあり、UGNからの支援はかなり厚い。

彼女は精一杯自分の持てる知識を総動員して、現代っ子の日常に溶け込もうと苦心する。